

第53回(‘2026)

北海道地区トラックドライバー・コンテスト

実施要領

【出場者用】

～ 交通事故ゼロを目指して ～

【留意事項】

① 出場選手の所属する事業者からは最低限の引率者の同行を推奨いたしますが、対応は各事業者の判断に委ねます。

また、出場選手の同僚や家族等の来場について制限はいたしません。観覧の際は、以下を遵守願います。

＜実科競技を観覧される皆様へ＞

指定された駐車場所以外には駐車しないでください。

1Fの選手控室や屋外本部テント内には選手が待機しています。

選手の集中を妨げるような大声での会話や声援、拍手は控えて下さい。

待機している選手に考慮し、節度あるご対応をお願いいたします。

② 学科競技の結果、実科競技への進出が叶わなかった方は、原則、退館を推奨いたしますが、対応は各選手(事業者)の判断に委ねます。

③ 「出場選手」や「出場選手の引率者」・「協会スタッフ」等には適宜、マスク着用及び手洗い、手指消毒を推奨いたします。

また、選手等には除菌シートを配布いたしますので、競技車両の消毒等にご使用願います。

公益社団法人北海道トラック協会

目 次

1. コンテスト進行表	1
2. 実施要綱	2
3. 学科競技実施要領	6
4. 実科競技実施要領	7
5. コース図	11
6. 運転競技使用車両型式一覧	15

コンテスト進行表

実施日：令和8年6月27日(土)
場 所：札幌運転免許試験場

8：10	開 場 開会式会場入室（受付）
8：40～8：55	開 会 式 (1)挨拶 北海道トラック協会 輸送秩序交通対策委員長 (2)競技説明
9：00～10：00	学科競技（筆記試験：法規・構造機能・運転常識）
10：00～10：45	選手昼食（※出場者にはお弁当を用意しております。）
10：45～11：00	実科競技進出者発表
11：00～11：10	実科競技説明・走行順決定
11：15～11：50	コース下見
12：00～14：45	実科競技（運転技能）
15：00～	表 彰 式 (1)挨拶 北海道トラック協会長 (2)成績発表及び表彰 (3)各部門表彰（各部門優勝・準優勝、3位までを表彰） (4)北海道警察本部交通部長・北海道トラック協会長 連名賞（各部門の優勝者を表彰） (5)北海道運輸局長賞（全部門を通じての最高得点者表彰） (6)北海道トラック協会長賞（最高得点者の所属する事業所 を表彰） (7)全国大会代表選手を発表
15：35～	来賓祝辞 1.北海道運輸局 自動車技術安全部長 2.北海道警察本部交通部長
15：50	閉 会

第53回北海道地区トラックドライバー・コンテスト 実施要綱

1 目的

交通法規の遵守と運転技能の向上を図ることにより、交通事故防止に努めるとともに、トラックドライバーに誇りを持たせ社会的責務を自覚させることを目的とする。

2 主催

公益社団法人北海道トラック協会

3 後援

北海道運輸局
北海道労働局
北海道
北海道警察

4 協力

一般社団法人札幌地区トラック協会 一般社団法人函館地区トラック協会
一般社団法人室蘭地区トラック協会 一般社団法人旭川地区トラック協会
一般社団法人十勝地区トラック協会 一般社団法人釧根地区トラック協会
一般社団法人北見地区トラック協会

5 協賛

三菱ふそうトラック・バス株式会社北海道ふそう 【競技車両協力】

6 実施日と会場

実施日：令和8年6月27日(土)

会場：札幌市手稲区曙5条4丁目1-1
「札幌運転免許試験場」

7 競技部門

4トン車部門、11トン車部門、トレーラ部門、女性部門(2トン車)の4部門とする。

8 出場選手の資格

出場選手は下記(1)、(2)、(3)すべての要件を満たす者とし、複数部門の参加は認めない。

また、大会後に資格要件を満たさなかった事が発覚した場合は、大会出場を無効(失格)とし、順位についても以下の選手を繰り上げるものとする。

- (1) 地区トラック協会会長が推薦した者
- (2) 地区トラック協会会員事業者に在籍する従業員であり、勤務成績優秀で出場推薦日以前の過去3年間に人身事故を起こしたことがなく、かつ過去1年間無事故、無違反であること。
- (3) 過去、全国大会で優勝又は2回以上出場していない者

ただし、トレーラ部門・女性部門で、平成12年度以前の全国大会出場はこの回数に含めない。

9 表彰

(1) 選手表彰

各部門について1位から3位までを表彰し、賞状と副賞を贈呈する。

各部門の1位については、北海道警察本部交通部長と北海道トラック協会会長との連名賞を贈呈する。

各部門を通じての最高得点者には、北海道運輸局長賞を贈呈する。

(2) 事業所表彰

各部門を通じての最高得点者が所属する事業所には、北海道トラック協会会長賞を贈呈する。

10 競技審査の概要

(1) 学科競技（筆記試験）

安全な交通の方法等に関する必要な知識の会得状況について試験する。

①試験方法：短答式

②試験時間：60分

③試験内容：法規（道路交通法）、構造機能（車両）及び運転常識（プロドライバーとしての一般的認識事項等）

(2) 実科競技（運転技能）

安全・無事故運転を主体として、交通法規の遵守、基本操作技術について審査する。

①対象者：各部門の学科競技の上位者10名を対象とする

②審査方法：実科競技採点表に基づき行なう

③競技時間：10分

④審査内容：審査の主眼は運転操作、法規履行、運転態度、課題走行（車庫入れ等）

(3) 競技の配点及び順位の決定

①配点：1,000点満点

ア. 学科競技 … 法規200点・構造機能100点・運転常識100点

イ. 実科競技 … 運転600点

②順位の決定方法

ア. 学科競技の上位者の判定

1) 法規、構造、常識の合計得点の高い者とする。

2) 合計得点が高点の場合は法規得点の高い者とする。

3) 法規が高点の場合は高年齢者（同年齢の場合は誕生日が先の者）とする。

イ. 最終順位の決定

1) 総合得点の高い者とする。

2) 総合得点が高点の場合には、運転競技の得点の高い者とする。

3) 全てが高点の場合には、高年齢者（同年齢の場合は誕生日が先の者）とする。

11 全国大会出場選手

(1) 出場選手の決定

各部門の1位の者を全国大会出場の北海道代表選手とする。

ただし、女性部門を除き同一事業者から2部門以上にわたって最高得点者が出た場合、得点の一番高い者を優先して該当部門の代表とし、残りの該当部門は別事業者の2位の者（以下次点の者）を代表とする。

(2) その他

全国大会出場選手は運転経歴証明書（自動車安全運転センター発行の過去5年間）により無事故・無違反の状況を確認する。

12 全国大会開催日及び会場（予定）

(1) 競 技

① 学科競技：令和8年10月24日（土）

② 実科競技：令和8年10月24日（土）～25日（日）

会 場：自動車安全運転センター安全運転中央研修所
（茨城県ひたちなか市）

(2) 表彰式

実施日：令和8年10月26日（月）

会 場：第一ホテル東京（東京都港区）

学科競技実施要領

[学科競技の主眼]

交通法規等安全運転に必要な知識の会得状況について試験する。

[試験時間、配点等]

出題範囲、出問数、配点及び試験時間は次のとおり

法 規	40問	200点満点	} 試験時間60分
構造機能	20問	100点満点	
運転常識	20問	100点満点	

[学科競技注意事項]

- (1) 解答はすべて別紙の解答用紙（マークシート方式）に記入すること。
- (2) 解答用紙（マークシート方式）は、鉛筆を使用して必要な箇所にマークすること。
なお誤ってマークした場合は、あとの残らないように消しゴムで消すこと。
- (3) 試験開始後、解答用紙の「部門」、「選手番号」、「氏名」欄を確実に記入すること。
- (4) 問題用紙は、試験開始の合図があるまで開かないこと。
- (5) 問題を一通り見て、印刷の不鮮明なところがあれば挙手をして係員に申し出ること。（係員は問題の内容に触れるような質問には一切返答しない。）
- (6) 問題用紙に、メモや計算等を書き込んでも差し支えない。問題用紙は選手がそのまま持ち帰ること。
- (7) 試験開始後40分経過後より退室してもよいが、解答用紙は机上に伏せて、他の選手の妨げにならないよう静かに退室すること。
なお、一度退出したら再度の入室は認めない。
- (8) 時間については、試験終了10分前と5分前に終了を予告する。
- (9) 落とした筆記用具の拾得等、試験時間中に何らかの問題が生じた場合は、挙手をして係員に申し出ること。
- (10) 試験中に携帯電話、通信機能を有する腕時計、タブレットPC等の電子機器（携帯電話等電子機器）を使用した場合又はそれら機器を利用し解答内容を不正に取得する行為があった場合は失格とする。
- (11) その他、明らかに不正と認められる行為があった場合は失格とする。

実科競技実施要領

[審査の主眼]

安全運転に取り組む姿勢を主体として、交通法規の遵守、基本操作技術について審査する。

各部門とも満点を600点とし、実科競技採点表に基づいて採点する。

[審査対象項目]

(1) 運転操作及び法規履行

安全措置、発進、制動、走行、車体感覚、通行区分、進路変更、直進・右左折（巻き込み防止措置も含む）、ハンドル操作、駐停車等

(2) コース走行

周回・幹線コースの走行（発進、停止を含む）、交差点の通行（右折及び左折を含む）、坂道・屈曲コース

(3) 車庫入れ（ホーム着け）

車体後部と指定された停止位置との距離により採点する。

※ 4トン車部門、女性部門については車体左側の側方板より車両左側前後の距離を計測し、車両後部と側面のいずれか遠い距離を採用し採点する。（詳細は8ページ参照）

(4) 運転時間

各部門とも運転時間10分経過後は減点の対象とする。

ただし、車庫入れ採点待ち（車庫入れ完了の合図から同乗審査官が発進を指示するまでの間）、先行車待ち（他車の車庫入れ、後退、駐車を待つ間で同乗審査官が指示した場合）等は時間から除外する。

[競技の進行]

(1) 選手は指定の待機場所で待機し、係員の指示により車両乗車場所で競技車両へ乗車し、同乗審査官の指示によりスタート地点まで移動する。

移動に際してはアクセル、クラッチ、ブレーキなどの感覚を把握するため、途中で停車や発進をすることができる。

なお、乗車前の車両点検は省略する（車両点検は行わなくて良い）。

(2) スタート地点では一旦エンジンを停止し、両足をペダルから放し、ギアをニュートラル（AT車の場合はパーキングに準ずる位置）にしてサイドブレーキをかけ、運転者側のドアをロックして待機する。

(3) スタート地点における発進は同乗審査官の「発進」の指示に従ってエンジンを始動し、速やかに発進すること。

- (4) コースの走行順路の細部は同乗審査官の指示するとおりとし、不明の場合は速やかに尋ねる。

[競技条件]

- (1) 審査（時間測定を含む）は同乗審査官が「発進」と指示したときから、コース終着点で下車し、ドアを閉めるまでとし、法令に従い基本操作を行なうこと。
- (2) コースは一般道路（舗装面はすべて車道）とみなし、コース上の道路標識、道路標示等はすべて有効とするが、コース内のゼブラゾーンは除外します。
- (3) 最高制限速度は50 km/hとし、道路及び交通の状況に応じた速度で走行すること。（変速ギアの選択は自由とする）
- (4) 左折小回りの基準は、交差点内に縁石と車道外側線がある場合は縁石から左後輪（けん引車はトレーラの左後輪）がおおむね1メートル以内を走行すること。（左折直後の中央線はみだしは必要限度で行っても良い。）
- (5) 路外離脱（脱輪）の際は、直ちに停止し、同乗審査官の指示に従うこと。
- (6) 車庫入れは車体後部と指定された停止位置[A]との距離を測定し採点する。実際の測定は、車両後部の車体中央部分と停止板の距離を測定し、指定された停止位置[A]との誤差を割り出し、誤差に対して下表により部門毎の減点数を算出する。（指定された停止位置[A]より手前に停止または超えて停止した場合の誤差についても同等に扱う。）

また、4トン車部門・女性部門の場合、上記の車体後部の測定のほか、車両左側の側方板より車体左側前後の距離を計測（10ページ下図参照）し、車両後部の指定された停止位置[A]との誤差と車体左側前後の距離のいずれか遠い距離を採用し、下表により部門毎の減点数を算出する。

※「指定された停止位置[A]」の設定は後方のみ

なお、[A]の位置は大会当日に発表する。

(例) 指定された停止位置[A]が「60cm」の場合（4t部門）

後部実測値：80cm－指定された停止位置「60cm」＝採点対象値・20cm

車体左側前後実測値：前・15cm／後・30cm ＝採点対象値・30cm

※いずれか遠い距離を採点対象とする、ことから

⇒ 「30cm」＝採点表により減点は「10点」

- (7) 停止板には平行に接近すること。

- (8) 車庫入れが完了した時は、車両後部付近にいる計測員に、窓から手を出し「👉」で計測員に知らせること。車庫入れが完了してもエンジンはかけておくこと。
- (9) 車庫入れ完了後の発進は同乗審査官の指示に従うこと。
- (10) 終着点では指示された目標線にフロントバンパーを一致させ、エンジンを停止し、駐車状態にする。

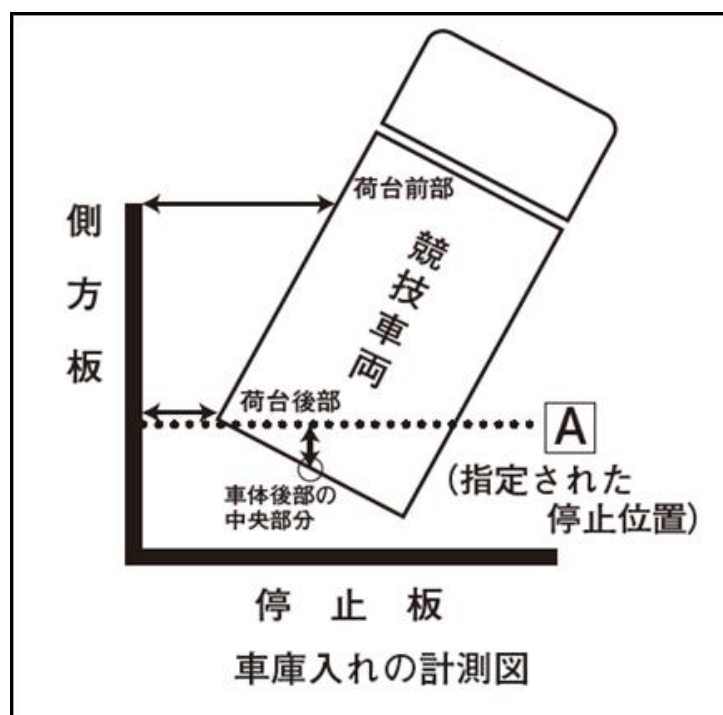
<実科競技注意事項>

- ① コース下見終了後、各部門のゼッケン「1」番の選手は、スタッフが「アナウンスメント」へ誘導します。
ゼッケン「1」番の選手は、貴重品を事前に引率者に預けるか、1階「運転前選手待機場所」にお預けください。
- ② その他の選手は2F「運転前選手控室」で待機となります。
運転後は2F控室には戻れないため、貴重品などは必ず持参してください。
- ③ 運転前選手のスマホやスマートウォッチ等の通信機器等の使用は禁止とします。
また、実科競技車両内への持ち込みも禁止します。
スマホ・スマートウォッチ等は、所定の封筒に入れ、事前に引率者に預けるか、運転前に1F運転前選手控室待機場所担当スタッフにお預けください。
封筒には、必ず、「部門・部門出場番号・氏名」を記載してください。
1Fでは貴重品を保管箱で預かりますので、必ず運転後に引き取りに来てください。
- ④ 勝手に各控室から出たり、一般者と接触等した場合は不正行為として失格とする場合があります。
また、トイレ以外の場所にいた場合も失格となる場合があります。
- ⑤ 2F「運転前選手控室」から1F「運転前選手待機場所」及び「アナウンスメントの選手待機席」並びに「競技車両」まではスタッフが所定の経路でご案内しますが、途中で一般者との会話等した場合は不正行為として失格とする場合があります。

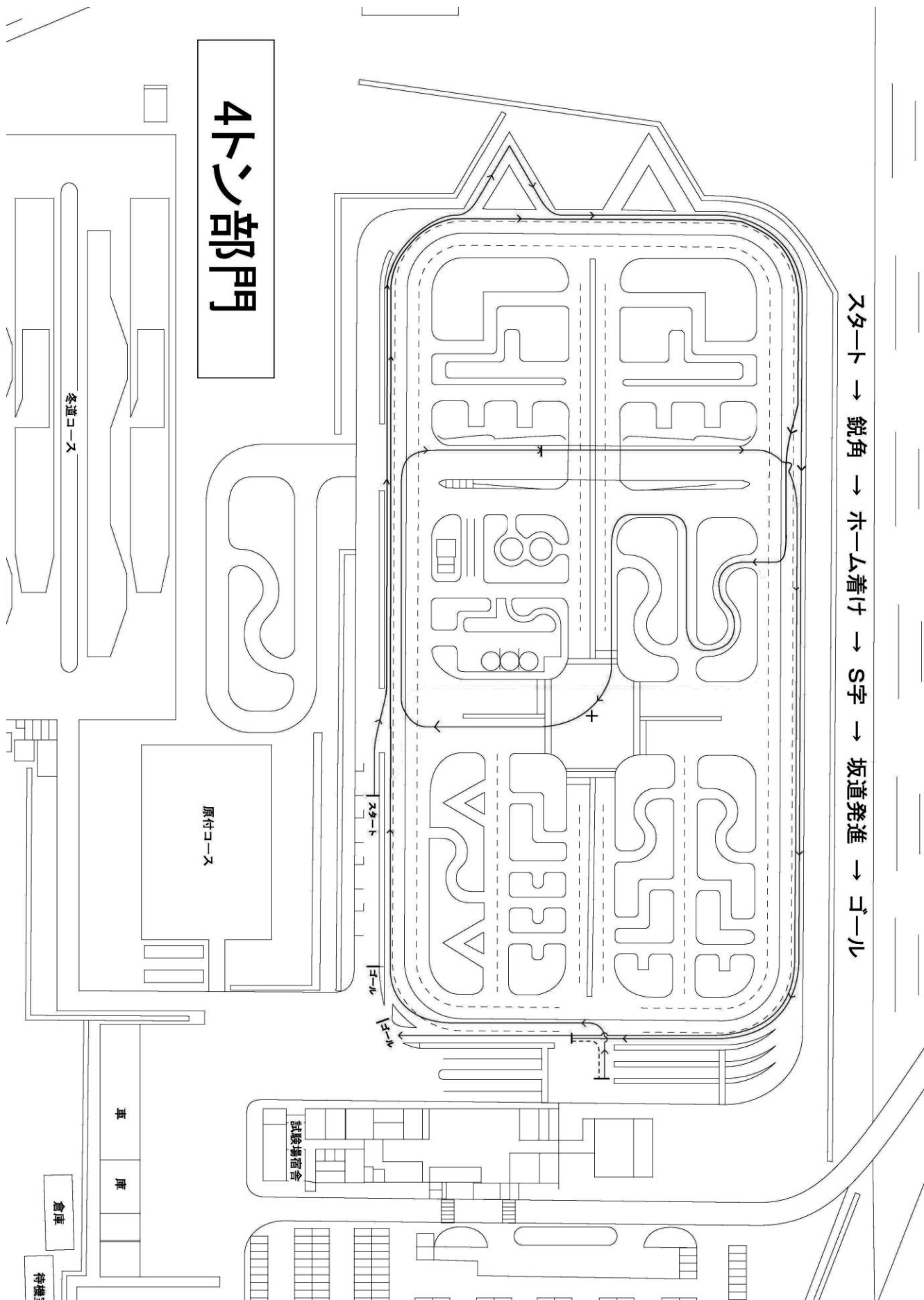
- ⑥ 実科競技開始後は2F「運転前選手控室」及び1F「運転前選手待機場所」周辺はスタッフ、運転前選手以外は立入禁止とします。
- ⑦ ゼッケンは表彰式が終了するまで着用しておいてください。
- ⑧ 感染症予防策の一環として、競技中の車両は窓を若干開けたままとします。
また、選手等の皆様には除菌シートを配布いたしますので、適宜、競技車両の消毒等にご使用願います。

車庫入れ採点表

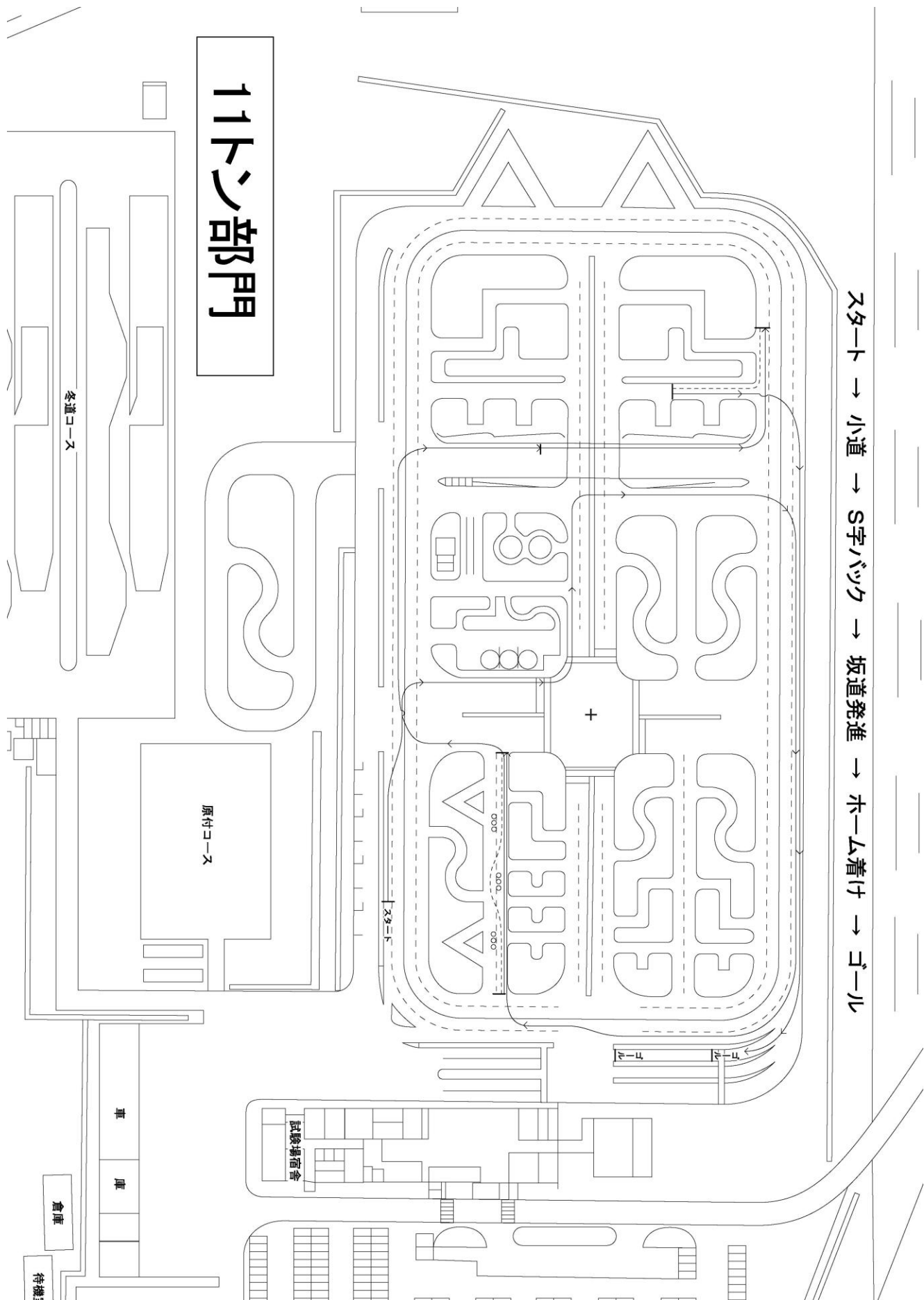
	減点0	減点5	減点10	減点20	減点50	減点100
11トン部門	30cmまで	31cm～40cm	41cm～50cm	51cm～60cm	61cm～	接触
4トン部門	15cmまで	16cm～23cm	24cm～31cm	32cm～39cm	40cm～	接触
女性部門	10cmまで	11cm～16cm	17cm～22cm	23cm～28cm	29cm～	接触
トレーラ	35cmまで	36cm～47cm	48cm～59cm	60cm～71cm	72cm～	接触



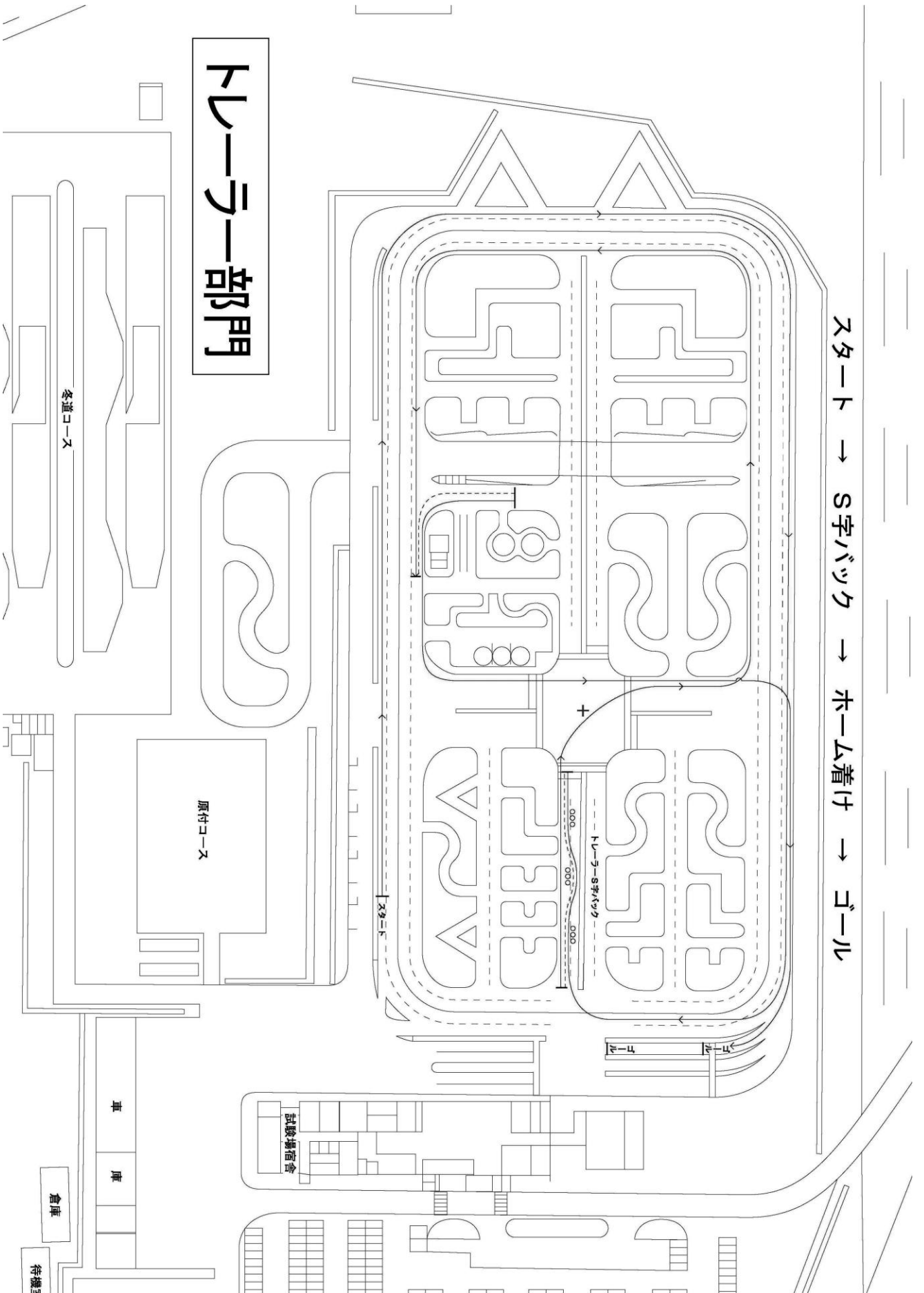
スタート → 鋭角 → ホーム着け → S字 → 坂道発進 → ゴール



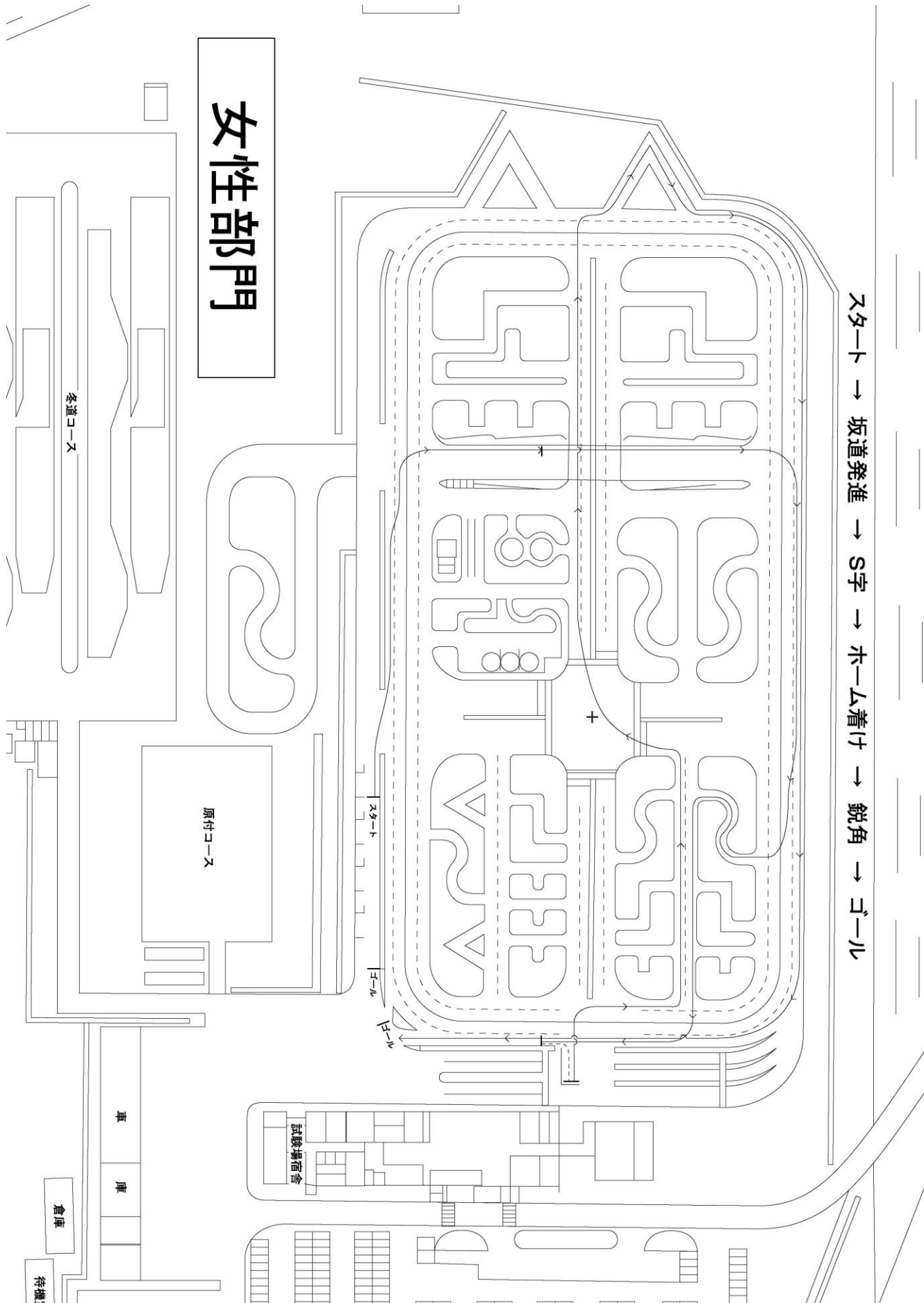
スタート → 小道 → S字バック → 坂道発進 → ホーム着け → ゴール



11トンの部門



スタート → 坂道発進 → S字 → ホーム着け → 鋭角 → ゴール



実科競技使用車両型式一覧表

[車両協力：三菱ふそうトラック・バス株式会社北海道ふそう]

第53回北海道地区トラックドライバーコンテスト 車両型式連絡表

11トン車部門	
型 式	QPG-FU64VZ
車体の形状	冷蔵冷凍車
長さ・幅・高さ	長さ1199cm・幅249cm・高さ378cm
トランスミッション (AT 又は MT)	MT車 (7速)
特記事項 (装備品等)	

4トン車部門	
型 式	2KG-FK65F
車体の形状	バン (ウイング車)
長さ・幅・高さ	長さ860cm・幅249cm・高さ345cm
トランスミッション (AT 又は MT)	MT車 (6速)
特記事項 (装備品等)	格納式ゲート付き

女性部門 (2トン車)	
型 式	2PG-FEB50
車体の形状	バン
長さ・幅・高さ	長さ632cm・幅221cm・高さ309cm
トランスミッション (AT 又は MT)	MT車 (5速)
特記事項 (装備品等)	

トレーラ部門 (トラクタ)	
型 式	QKG-FP54VDR改
長さ・幅・高さ	長さ559cm・幅249cm・高さ331cm
トランスミッション (AT 又は MT)	MT車 (7速)
特記事項 (装備品等)	

トレーラ部門 (セミトレーラ)	
型 式	GFPTF241AN改
車体の形状	バンセミトレーラー
長さ・幅・高さ	長さ1298cm・幅249cm・高さ376cm
特記事項 (装備品等)	